

# 県民の森だより

## 紙上ギャラリー

県民の森に生育する植物を描いた大和敬子さんの植物画と文を掲載します。彩色・A4版の作品です。



くさぼたん(きんぼうげ科)

草牡丹。葉が牡丹に似ている草だからと。しかし、茎の下部は逞しい木質であり、葉もさほど牡丹に似るとも思えないが、似て似ていると言えば三小葉という点か。牡丹と名のつく花は他にもある。ボタンヅル・ルイヨウボタン・キヌネノボタンなど。それだけ牡丹が広く知られていたということであるうか。牡丹を知らぬ幼い頃、金平糖のような実の姿から、キツネノボタンは「狐の釘」とばかり思っていた。

県民の森でも方々に見られ、珍しい花ではない。丈一m余り、草むらからまっすぐ伸びた茎の先に淡い紫色の細い筒型の花を下向きにつける。花弁はなく、くるりと反り返る四枚の萼片の外側には、粉のように細かく白い絹毛が密生しており、それが花色に微妙な陰影を添えて、草牡丹色としか言いようのない柔らかい紫色を見せる。

花の後、長く伸びた花柱に白い長い毛が沢山生えて、毛槍の穂のようにふうわり盛り上がる。これが風に乗って飛ぶ種子散布の仕組みだが、嬉しいことに、その幾つかが庭に運ばれたらしく、

く、植えた覚えもないのに何本か居ついて、花を見せてくれるようになった。

十一月。降るように落ち葉の舞い散る中、すくと立つ草牡丹の茎の先に残った毛槍の白い毛が、銀色に輝きながら飛んで行った。いのちの輪廻を感じさせられる季節である。

岩手県 県民の森管理事務所

〒028-7302

岩手県八幡平市松尾寄木1-515-5

TEL・0195-78-2092

FAX・0195-71-1778

<http://kenminnomori.com/>

E-mail [forest@kenminnomori.com](mailto:forest@kenminnomori.com)

**Access アクセス**

**開館時間** 9:00~16:00  
**休館日** 毎週火曜日 (ただし、祝祭日の場合は翌日)  
**駐車場** 第1駐車場 20台 (身障者、大型用駐車場あり) 第2駐車場 約50台



# 県民の森ガイド 松川溪谷の紅葉



10月25日



柱状列石



森の大橋の真下・上流



10月28日



川原から見た森の大橋

今年、松川溪谷の紅葉は一月ほど遅れました。観光客が多くなった10月初めの木々は緑でした。紅葉状況のお問合せに戸惑う日々、暖かな気温が続きます。下旬になり、やっと冷え込んだ夜があって紅葉の始まりです。

今年位、紅葉を待ち望んだことがあったでしょうか。何度も通った溪谷を彩る紅葉・黄葉。様々な場所で写しました。とりわけ黄色が美しいと思いますが如何でしょうか。

10月27日は降雪、岩手山が初冠雪しました。翌日は紅葉が一段と深まったようです。暖かい秋、いきなり降る雪に植物のみならず生き物すべてが、悩ましい日々を過ごしていることでしょう。

## ベランダの野鳥 ~ 温暖化異変 ~

例年餌出しを始める10月。今年は暖かく、カラ類の姿も見かけない上、鳴き声も聞こえないのです。

下旬、初雪の翌朝5時「チィ チィ チィ チィ〜」音程が、次第に上がる独特の催促の鳴き声がありました。

お約束のように、TPOをわかまえているようです。

早速、用意していたヒマワリの種を餌台に出しました。高い梢から「チ〜ィ」と鋭い鳴き声。仲間へのお知らせでしょう。

いつもなら次々に飛んでくるカラ達なのに、さっぱり。ゴジュウカラだけが、出入りしています。この日ベランダ前のクサギの葉は青々としていますし、コハウチワカエデは、やや黄色になりかかっているだけです。

11月2日やっと紅葉が盛りを迎えたのに、風が強くてベランダは、まるで落葉のパッチワークです。シジュウカラとヤマガラが来ました。ベランダに本格的な野鳥の季節が到来したようです。

## 森林環境学習 県民の森の新しい企画

県民の森は、平成22年11月1日から社団法人岩手県緑化推進委員会が指定管理先となりました。

これまで、ご参加頂いております年間行事は、引き続き実施させていただきます。

その他に新たな企画が生まれました。

それは県民の森を拠点とする「森林観察会」や「林業体験活動」等を行う森林環境学習です。

実施に当たっては、サポートセンターを設置した上、協力団体や専門家等と連携して、森林環境学習に関する行事計画の相談を受けるとともに、実施に際し、企画指導・技術指導を行います。

新企画につきましては、順次ご案内させていただきます。

# 前月行事から

## 大地獄谷観察会

現在もガス噴気が続く大地獄谷。登山経験者を対象とした行事でしたが、9月中に定員となりました。10月17日9時、6名のスタッフを揃えて出発です。

七滝を過ぎた所でブナ林のササ藪から突然現れたのはカモシカ。予定外の観察でした。一服峠で軽食。ほとんどの方が、その先は初めてのようです。泥道も多くペースを落としましたので登りは3時間半。健脚の方は物足りなかったかも知れません。

丸太を渡り、沢の石を飛んだ辺りで硫黄が臭って来ました。大地獄谷です。

12年前の噴気以前とは、大分様相が変化しています。硫黄の塔は次第に成長しているとのこと。活火山を実感しました。

帰路は、ブナ林の紅葉を楽しみながら下山。七滝で軽食を摂り、15時40分帰着しました。

大地獄谷の警告標識



谷の縁で記念撮影



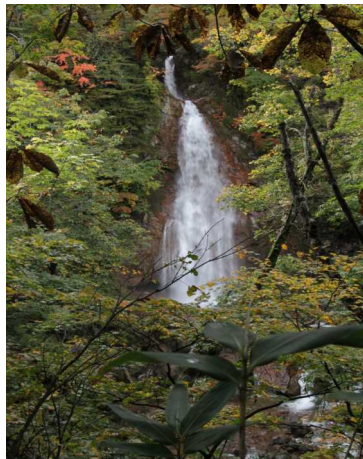
成長を続ける硫黄の塔



樹木のお話



雨二モマケズ



10月10日の七滝

## 紅葉の七滝自然観察会

10月10日(日)天気予報では雨。中止も考えましたが天候は回復。急にNHKの取材も入ったことから、一行11名は元気に出発しました。

紅葉は未だ早く、緑から黄に移り始めた端境期の森です。誰もいない森、濡れた落葉を踏みしめて散策。森の自然の解説を聞きながら、秋を満喫しました。

少し遅い昼食でしたが、帰ってから学習館で。温かいキノコそばが、サービスされました。

## 木材工芸センター情報

木材工芸センターは、木工製品販売とお客様の手作りのお手伝いをしております。

あなたも是非トライしてみませんか！



来年の干支

うさぎ

1,500円

お好きな色に  
彩色します。

## 風の子学園自然観察会

お便りを頂きました。



10月9日(土)  
黒沢尻東地区交流センターの行事で、小学生の皆様を七滝へご案内しました。

(前略) 子ども達も、初めての滝や熊のいたずらを見たり、たくさんどんぐりを拾ったり、一日楽しいことばかりで、帰りのバスの中では熟睡の子もいました。沢山の経験をありがとうございました。みんなで撮った写真を同封します。(後略)

# 県民の森お宝拝見

県民の森の自然展用に作成した植物画と毛筆による説明文をご紹介します。

「県民の森に親しむ会」の大和敬子さんの作品です。今月は、つるりんどう(りんどう科)です。



ギャラリー情報・学習館 2F



〈写真展〉

## 「八幡平讃歌・雪の章」

写真撮影：阿部ひろあき

環境省委嘱自然公園指導員  
岩手山地区パークボランティア

期間：平成22年11月1日(月)  
～12月26日(日)

# 晩秋のフィールドから



ノコンギクと  
ウラギンヒヨウモン

センブリ(リンドウ科)

ツルアリドオシ(アカネ科)



コシアブラ  
(ウコギ科) →



ヤマハハコ  
(キク科)  
→



ガマズミ  
(スイカズラ科)

ベニテングダケ.....強毒

